



大事にしたい感性、視点、考え方

南帷子小学校長 堀田 誠

右は、小学6年生の算数の授業で習う問題です。前時の授業で、四角柱の体積を求める学習をし、「体積＝底面積×高さ」という公式を習いました。前時の復習をしたようで、黒板には、体積を求める公式が書かれていました。

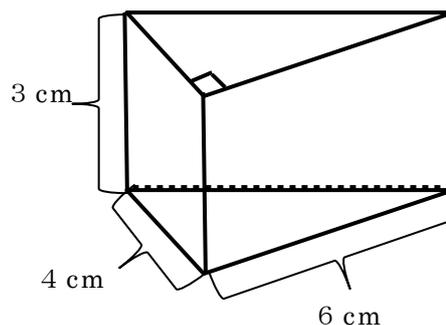
公式を知っている私は、三角形の公式は「底辺×高さ÷2」なので、「 $6 \times 4 \div 2 = 12$ 」。そして、高さの3をかければ求められると思いました。しかし、ちょうど見ていた班の子どもは「 $6 \times 4 \times 3 \div 2$ 」と計算していました。底面である直角三角形を求めるには、「 $6 \times 4 \div 2$ だろう」と思い込んでいました。「何で最後に2で割るの?」という質問に、「だって四角柱を半分に分ければ、あの図形になるから…」と答えました。この子が頭で描いている図形が自分とは違っていたのです。見ている視点が違っていたのです。

考えてみれば、四角柱で物事を考えていたこの子は、前時までの学習が定着しており、今日の直角三角柱を見た時に、「四角柱を半分に分ければ求められる」と閃いたのでしょう。子どもの頭は本当に柔らかいと感じました。もうすでに「公式の概念」が身に付いてしまった自分にとって、四角柱を半分にするという発想はどこかに失っていました。

先日、テレビで葛飾北斎の番組をやっていました。有名な富岳三十六景の波のはるか彼方に富士山が見える絵ですが、あの波しぶきは現代の超高速カメラでとらえた映像と同じだと分かりました。それまでは、葛飾北斎の独特な感性で描いた波だと思っていましたが、葛飾北斎の真実を見る眼力の鋭さにあらためて感心しました。きっと幼少期には、「そんなのは違う」「変な考えを持った子だ」と揶揄されたことでしょうか。多くの人は、「やっぱりみんなの言う通りかな」と思うことでしょうか。しかし、ほとんどの人々が失ってしまう眼力（感性）を葛飾北斎はずっと大事にしてきたのではないかと思います。葛飾北斎は90歳にして亡くなりますが、「あと10年生きていれば、本物の絵描きになれる」と言っていたそうです。その類ない意欲と底知れぬ力があれだけの作品をつくりあげたのだと思います。

子どもの感性、視点、考え方は、私たち大人がいつの間にか忘れてしまったものを思い出させてくれます。そのたびに反省しますが、いつの間にか元に戻る。本当に頭が固い…。

直角三角柱の体積を求めなさい。

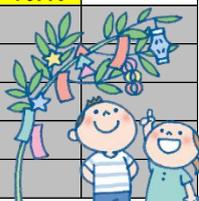


給食室横の紫陽花

令和6年度 7月 各学年の下校時刻

可児市立南帷子小学校

日	曜	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
1	月	13:40	13:40	15:05	15:05	15:05	15:05	全校研究会
2	火	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	
3	水	14:45	14:45	15:35	15:35	15:35	15:35	
4	木	15:05	15:05	15:05	16:00	16:00	16:00	クラブ
5	金	15:05	15:05	15:05	15:55	15:55	15:55	
6	土							
7	日							
8	月	14:10	14:10	15:05	15:05	15:05	15:05	
9	火	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	
10	水	14:45	14:45	15:35	15:35	15:35	15:35	
11	木	15:05	15:05	15:05	15:05	16:00	16:00	委員会
12	金	14:40	14:40	14:40	14:40	14:40	14:40	大掃除
13	土							
14	日							
15	月							海の日
16	火	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	
17	水	14:45	14:45	15:35	15:35	15:35	15:35	
18	木	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	
19	金	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	夏休み前日
20	土							
21	日							
22	月							
23	火							
24	水							



令和6年度 8月 各学年の下校時刻

27	火							
28	水							
29	木	11:15	11:15	11:15	11:15	11:15	11:15	
30	金	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	
31	土							

【ペットボトルの回収がスタート！】

6月10日に4年生が環境学習の一環として、サントリーの方からペットボトルのリサイクルについてのお話を聞きました。この学習での学びを全校に広げ、リサイクルの意識を高めていけることを目標に、7月2日から児童玄関前での「ペットボトル回収」をスタートします。約束は……

- ①キャップとラベルを外す。
- ②中身を水でゆすぐ。
- ③つぶさない。 です。

児童玄関の北側にネットを設置しますので、朝の登校時に、上記の約束を守ったペットボトルをお子さんに持たせていただき、リサイクルへの意識を高めていけるようご協力をお願いします。
(キャップは回収しません。)



6月「笑顔の南帷っ子」



1年生町たんけん



プール開き



5年生宿泊研修



読み聞かせ

南帷子の笑顔のもと

「かしこさ・やさしさ・たくましさ」

今年も、読み聞かせボランティアの皆さんが、各クラスで楽しい読み聞かせを「笑顔のもと」してくださっています。地域の皆さんに支えられ、南帷の子ども達のやさしさが育っています。いつも本当にありがとうございます！



【PTAより草刈り機2台とテント1張りを 買っていただきました！】

今年も南帷子小のグラウンドが緑色に色づいてきました。これから晩秋を迎えるまで、また草との戦いが始まります。本校では、安全サポーターの川崎さんと山本さんが、毎日草刈り作業をしてくださるおかげで、子どもたちが活動しやすい環境を整えることができています。

毎日フル活動の草刈り機を、これまで修理に修理を重ねながら使ってきましたが、今回、新しい物を買っていただき、より作業がしやすくなったのではないかと思います。

また、熱中症予防のためのテントも子どもたちのために有効活用させていただきます。

ありがとうございました！

